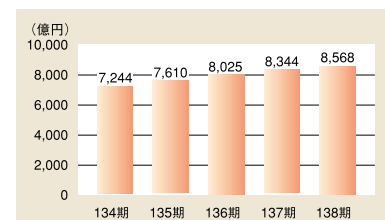


事業別レビュー（連結）

国内運輸事業

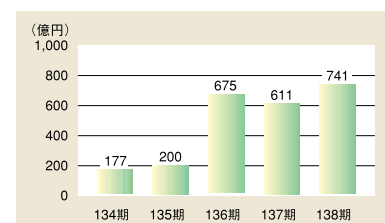
宅急便業務につきましては昨年10月より実施の「SDダイレクト通信」など、インターネットを利用した各種サービスの提供や、法人顧客との取引拡大に取り組んだ結果、全般的に堅調に推移しました。「コレクトサービス」の取扱い個数は58百万個となり、前期比10.1%増と、順調な伸びを示しました。また、「クール宅急便」は前期比3.3%増の1億15百万個となり、その結果、宅急便の総取扱個数は前期比3.8%増の9億83百万個となりました。

「クロネコメール便」につきましては、営業を強化して中小口の法人顧客との取引拡大に努めた結果、堅調に推移しました。これに、引越事業、国内航空貨物業務、その他業務などを併せた国内運輸事業の営業収益は前期比2.7%増の8,568億27百万円となりました。



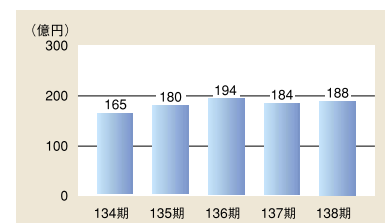
国際運輸事業

米国西海岸の港湾ストライキにより国際貨物が海上運輸からシフトしたことなどにより、航空貨物輸送は取扱量が拡大しましたが、米国を中心とした海外景気は減退し始めており、全般的には低調のまま推移しました。このような状況のなか、国際運輸事業は、中小輸出顧客の新規獲得と米国およびアジア向けの自動車関連顧客の輸出量拡大や、大和運輸（香港）有限公司、YAMATO TRANSPORT(S)PTE.,LTD.、TAIWAN YAMATO INTERNATIONAL LOGISTICS INC.の3社を新規に連結したことなどにより、営業収益は前期比21.1%増の741億17百万円となりました。



情報通信事業

物流センターを東京の他、神奈川、名古屋地区に増設し、物流情報システムの商談に力を入れるほか、物流システムソフトの販売やE-ビジネス支援セミナーを開催し新しいビジネスへの取り組みを始めるなど、積極的な営業展開に努めた結果、営業収益は、前期比2.5%増の188億88百万円となりました。



その他の事業

物品販売事業は、書籍販売がパソコンや携帯電話による受注が増加したことなどにより堅調に推移しました。これに梱包事業などを併せたその他の事業の営業収益は、ホームサービス8社を新規に連結したことなどにより、前期比23.3%増の223億2百万円となりました。

